

平成 26 年 9 月 12 日

各 位

「ハラールビジネスセミナー」の開催について

フィデアホールディングス株式会社（本社：仙台市、社長兼CEO：里村 正治）及びフィデアグループの株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：國井 英夫）、株式会社北都銀行（本店：秋田市、頭取：斉藤 永吉）は、独立行政法人中小企業基盤整備機構と共催で、平成 26 年 10 月 3 日（金）に仙台市内で「ハラールビジネスセミナー in 仙台 ～ハラールを理解し、『おもてなし』をしよう！～」(後援：東北経済産業局、宮城県、仙台市、一般社団法人 東北経済連合会)を開催いたします。

フィデアグループは、従来からアジア、特に ASEAN 諸国の金融機関等との提携を拡大しており、昨年 11 月にイスラム経済圏・ハラール市場を意識したお取引先支援を目的にマレーシア工業開発銀行(MIDF)と業務協力協定を締結したほか、本年 4 月には ASEAN 市場及びイスラム市場における成長可能性が見込まれるビジネスの拡大及び進出支援促進を目的とする日本初のイスラム法(シャリア)適格プライベートエクイティファンド(PNB-INSPiRE Ethical Fund 1)の組成に参画しております。

イスラム教徒(ムスリム)は 2010 年に 16 億人を超え、2030 年には 20 億人に達すると予測されています。その中でも堅調な経済成長を続けるインドネシアやマレーシア等の東南アジアには、世界の約 3 分の 1 のムスリムが集中しています。この巨大なムスリム市場をターゲットにビジネス展開する上で「ハラール」の理解と対応が欠かせません。

来年 3 月に仙台市で開催される「第 3 回 国連防災世界会議」に、世界各国から関係者が一堂に会し、多くのムスリムの方々も来日されることが見込まれます。このような機会を見据え、ムスリム社会やハラール認証等ムスリム対応サービスを正しく理解し、日本的な「おもてなし」を提供することは、日本とムスリムの友好関係に大いに貢献し、ひいては地域のグローバル化と経済活性化につながります。

本セミナーでは、世界のムスリム産業のハブとなっているマレーシアスタンダードに基づくハラール基準の教育・普及活動を行っているジャパンハラールコープ(株)ヴィラーゴ 代表取締役 Managing Director 中村 直子 様、Director アデ ヘンドラ サイフル 様と、PNB-INSPiRE Ethical Fund 1 を組成、運用する日本有数の技術系ベンチャーキャピタル 株式会社インスパイア 代表取締役 高槻 亮輔 様をお招きし、ハラールの基礎知識や最新動向のほか、今後増加することが期待されるイスラム圏からの旅行客への対応方法等について具体的な事例をご紹介します。

セミナー概要、申込方法などについては別紙をご参照ください。多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

フィデアホールディングス 経営統括グループ

佐々木 かおり
佐藤 琢磨

TEL : 022-290-8800

ハラールビジネスセミナーin 仙台

～ハラールを理解し、「おもてなし」をしよう！～

イスラム教徒（ムスリム）は 2010 年に 16 億人を超え、2030 年には 20 億人に達すると予測されています。その中でも堅調な経済成長を続けるインドネシアやマレーシア等の東南アジアには、世界の約 3 分の 1 のムスリムが集中しています。日本国内の市場が縮小するなか、今後この巨大なムスリム市場相手にビジネスを展開していくには、「ハラール」の理解と対応が欠かせないものとなってきます。

2015 年 3 月に仙台市で開催される「第 3 回 国連防災世界会議」には世界各国から関係者が一堂に会し、多くのムスリムの方々も来日されることを見込まれます。このような機会をとらえ、ムスリム社会やハラール認証等ムスリム対応サービスを正しく理解し、日本的な「おもてなし」を提供すれば、日本とムスリムの友好関係に大いに貢献し、ひいては地域のグローバル化と経済活性化につながるものと考えます。

そして、ビジネスチャンスはまさに「今」です。

フィデアグループは、中小機構様などの協力を得て、「ハラール」マーケットの最新動向をはじめ、基礎知識や認証制度、ビジネス活用事例などについて学ぶセミナーを開催いたします。

日 時	平成 26 年 10 月 3 日（金）13：00～17：00（開場 12：30）
会 場	TKP ガーデンシティ仙台 ホール A-1 （仙台市青葉区中央 1 丁目 3-1 AER 21 階）
内 容	第 1 部：「イスラム圏の訪日客を”おもてなしの心”で迎える環境づくり」 ジャパンハラールコープ（株）ヴィラーゴ 代表取締役 Managing Director 中村 直子 氏 Director アデ ハンドラ サイフル 氏 第 2 部：「ハラールビジネスの概要及び今後の展望について」 株式会社インスパイア 代表取締役 高槻 亮輔 氏 第 3 部：「中小機構の海外展開支援事業」 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 シニアアドバイザー 辻 聡司 氏
参加費	無料
定 員	100 名（先着順・「ハラール」にご興味のある方であれば、どなたでもご参加いただけます。）
申込方法	別添の参加申込書にご記入のうえ、FAX にてお申込みください。
申込締切	平成 26 年 9 月 26 日（金）必着
主 催	フィデアグループ（フィデアホールディングス、荘内銀行、北都銀行）
共 催	独立行政法人 中小企業基盤整備機構
後 援	東北経済産業局、宮城県、仙台市、一般社団法人 東北経済連合会

☆「ハラール」とは…

ハラールとは、イスラム法に基づき「神に許されたもの」という意味で、ムスリムの生活の基礎を構成しています。その対象には食品のみならず、化粧品や医薬品・金融商品・物流機構まで含まれます。

イスラム教国かどうかを問わず世界各国にハラールか否かを固有のマークで表示する認証機関が存在しています。

ハラール認証を得ることは、世界のイスラム教徒の巨大消費市場に進出するための入場券を得るようなことで、安心・安全で優れた日本の産品やサービスを拡販するチャンスに繋がることから、日本でも注目が集まりつつあります。

【本件に関するお問い合わせ】

フィデアホールディングス ハラールビジネスセミナー事務局（佐々木、佐藤）TEL：022-290-8800

《申込先》 FAX : 022-726-5907
フィデアホールディングス 佐々木・佐藤 行き

フィデアグループ 主催

「ハラル」ビジネスセミナー 参加申込書

締切日：9月26日（金）

申込日：平成 年 月 日

貴社名 (団体名)		業種	
ご住所	〒		
電話番号		e-mail	
参加者	役職名	ご芳名	

※ ご記入いただいた個人情報は主催者において適切に管理し、本セミナーの開催以外の用途では使用いたしません。

《 講師紹介 》

ジャパンハラルコープ (株)ヴィラゴ)
代表取締役 Managing Director 中村 直子 氏
大阪芸術大学卒。

マレーシア人ムスリムと結婚し、改宗した日本人ムスリム。イベントプロデュースを通じてイスラム圏アーティストと親交が深まる中、日本のムスリム対応の遅れを痛感。現在「ハラル」をキーワードにセミナーやコンサルティングを通じて日本における具体的なムスリム対応策を広めている。

Director アデ ヘンドラ サイフル 氏
1999年マレーシア国営放送の記者として、NHK国際放送局に赴任。のちに直子氏と結婚し、JHCを立ち上げる。マレーシア国内の幅広い人脈と専門知識を生かし、日本におけるムスリム対応の拡大に尽力している。

株式会社インスパイア 代表取締役
高槻 亮輔 氏
慶応義塾大学経済学部卒。

1995年日本興業銀行入行、2001年日本有数の事業開発系ベンチャーキャピタルであるインスパイア入社(08年8月より現職)。中小企業政策審議会組織連携部会臨時委員、慶応義塾大学グローバルセキュリティ研究所客員研究員等、多方面で活動中。

2014年4月、マレーシア最大の政府系産業育成会社である Permodalan Nasional Berhadグループと共同で日本初の「シャリア(イスラム法)適格ファンド」(荘内銀行・北都銀行がLP参加)を組成、49.5億円で投資活動をスタートさせた。

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
シニアアドバイザー 辻 聡司 氏
早稲田大学卒/国際大学大学院修了。

1994年日本無線株式会社入社。北米、欧州事業の立ち上げ、販路開拓、販売拠点の経営管理、マーケティング、製品企画を担当。大学院での事業再生研究を経て、組織変革と事業再生のパイオニアである国際的コンサルティングファーム「プラウドフットジャパン」でマレーシアに駐在。世界トップシェアの半導体装置メーカーのマレーシア、タイ、シンガポールの現地子会社でマネジメントシステムの変革をリード。その後、ガリバーインターナショナルでインド子会社設立や上場子会社等のM&A・売却などを実施。現在は独立。中小機構のF/S事業立ち上げから関わり、ハンズオンで中小企業の海外展開計画・実行計画作りを支援している。